

## 国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）第7回環境と開発委員会（CED7） （閣僚級会合）について

### ■ 経緯

国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）第7回環境と開発委員会（CED7）（閣僚級会合）が、2022年11月29日から同年12月1日まで、タイ・バンコクで開催されました。

本会合では、「環境と開発に関する閣僚宣言」及びその付属文書「大気汚染に関する地域行動プログラム」が採択されました。

### ■ 会合の概要

- 日 程 2022年11月29日～同年12月1日
- 場 所 タイ・バンコク 国連カンファレンスセンター
- 参加者 UNESCAP 域内加盟 30 か国、域外加盟 2 か国の計 32 か国、関連国際機関・NGO の代表者等

### ■ 概要

#### （ア）開会挨拶

Armida Salsiah Alisjahbana ESCAP 事務局長は、アジア太平洋地域は、特に気候危機、生物多様性の損失、大気汚染による健康被害、プラスチック等による海洋生態系影響等の深刻化を地域の喫緊の課題として挙げた。このため、各国における政策強化や能力強化、多国間の連携や協力強化等を通じて、パリ協定の目標、自然を基盤とした解決策（Nature-based-solutions）生態系の確保、清浄な大気環境、海洋管理、持続可能な開発目標を達成する必要があると述べた上で、アジア太平洋地域の未来に向けて、今次閣僚宣言の採択に期待する由発言した。

#### （イ）各国からのステートメント及び閣僚級対話

閣僚級会合第3日目（12月1日）に、各国からのステートメントが行われた。主として気候変動、大気汚染、海洋課題等に対する各国の取組が共有されるとともに、一国での解決が困難である課題への対策について、アジア太平洋地域のみならずグローバルレベルの連携の必要性が強調された。

#### （ウ）日本からのステートメント

針田審議官から、日本が主導して東アジア地域の環境モニタリング体制を構築するために設立した「東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）」の活動と成果について発表した。また、参加者に向け、EANET のプロジェクトへの幅広い参加、協力を呼びかけた。

#### （エ）会合の成果

ESCAP・CED7の成果として、「環境と開発に関する閣僚宣言」及びその付属文書「大気汚染に関する地域行動プログラム」が採択された。

(オ) 採択文書の主な内容

○「環境と開発に関する閣僚宣言」

- 「大気汚染に関する地域行動プログラム」の採択
- 生態系保全、気候緩和・適応、海洋生態系の保護、持続可能な都市、市民参加に向けた決意
- 事務局に対する、知見・経験の共有、政策対話、技術協力等の促進の要求

○付属文書「大気汚染に関する地域行動プログラム」

<目的>

科学に立脚した協力等の促進、情報交換のためのプラットフォームの構築、政策対話・技術協力の促進

<取り得る行動>

- 大気環境管理の向上：  
環境基準の設定又は既存基準の見直し、関係機関の連携の強化、各産業分野における大気環境政策の影響評価、知見・経験の共有
- 大気モニタリング及びデータシェア  
排出インベントリーの開発に係る能力強化、汚染物質の分析のためのデータや情報の共有、情報共有のためのデジタルプラットフォームの構築、知見・経験の共有 等
- 優良事例の共有及びアウトリーチ  
ESCAP 等のプラットフォームを通じた知見・経験の共有に基づく科学に立脚した対策の強化、NGO・民間企業等との協業、学術研究成果の共有の促進等
- 能力向上  
大気環境政策の立案支援の促進、データ収集・分析に関する技術能力向上、能力向上プログラム需要の特定、技術支援、民間等とのパートナーシップの促進等
- 多国間協力  
既存のプラットフォームの強化、CED を通じた地域アクションプログラムの実施の促進（ハイレベル政策対話含む）、既存の学術・研究機関の多国間協力の支援

(カ) 環境省主催サイドイベント

2022 年 11 月 30 日に環境省がサイドイベントを主催し、日本が長年支援及び主導している EANET について紹介するとともに、日本主導で進めている EANET プロジェクト（ローコストセンサーを活用した広域モニタリングネットワークの構築等）について発表した。

以 上